

平成22年度(3)

県政モニター アンケート報告書

テーマ「防犯活動への意識」

平成22年11月

も く じ

調査の概要	1
-------------	---

調査結果

1 安全で安心して暮らすために重要なこと	3
2 地域の治安	5
3 あなたのとっている防犯対策	11
4 自治体に望む防犯対策	13
5 防犯カメラの設置	15
6 身近に感じる防犯情報	17
7 CSR活動（企業の社会貢献活動）に取り組む企業	19
8 防犯パトロール活動への参加意思	21
9 自由意見	23

質問と回答	28
-------------	----

調査の概要

1 調査のテーマ

防犯活動への意識

2 調査の趣旨

県、警察、教育委員会が策定した「あいち地域安全新3か年戦略」では、平成23年度までに刑法犯認知件数を2万件以上減少させるため、対前年比で毎年5パーセント以上減少させることを目指しています。しかし、愛知県の刑法犯認知件数は全国的に減少傾向にある中で一昨年、昨年と2年連続で増加しました。

本年の刑法犯認知件数は前年同期比（5月末）では減少しているものの、住宅対象侵入盗やひったくりなど県民の身近で発生する犯罪は増加しており、治安に対する不安感が解消されているとは言い難い状況です。

「あいち地域安全新3か年戦略」の目標を達成するためには、県民、事業者、市町村などが一体となった総ぐるみの活動が必要です。また、犯罪の起きにくい社会を実現するためには、高い規範意識と強い絆を社会に根付かせる活動も不可欠です。

そこで、より実効の上がる活動を展開するため、治安に対する関心度や犯罪を減少させるために必要な施策等について県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

3 調査対象

県政モニター 497人（平成22年8月20日現在）

内訳

区 分	計		名古屋地域	尾張地域	三河地域	
	人 員	構 成 比				
総 数	497人	100.0%	153人	187人	157人	
性 別	男 性	240	48.3	78	89	73
	女 性	257	51.7	75	98	84
年 代 別	20 代	78	15.7	25	28	25
	30 代	106	21.3	31	42	33
	40 代	92	18.5	29	35	28
	50 代	81	16.3	23	32	26
	60 代 以上	140	28.2	45	50	45

4 調査期間

平成22年8月3日から平成22年8月20日まで

5 調査方法

郵送・インターネット（選択）

6 回答者数

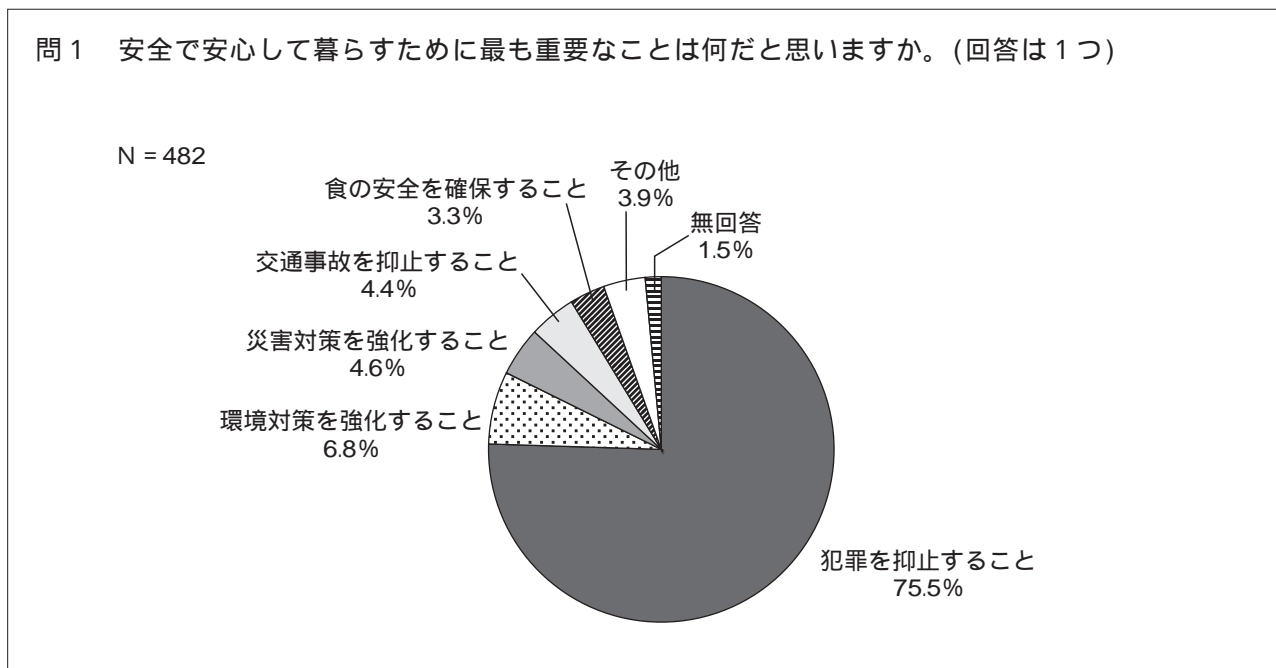
482人（回収率97.0%）

【記号・符号・用語の説明】

- (1) N（Number of Cases の略）は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (2) M.T. (Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。（無回答者の数値は含まない。）
- (3) 回答が1つの質問であっても、小数第2位を四捨五入して割合を求めているため、合計が100%にならないことがある。

調査結果

1 安全で安心して暮らすために重要なこと

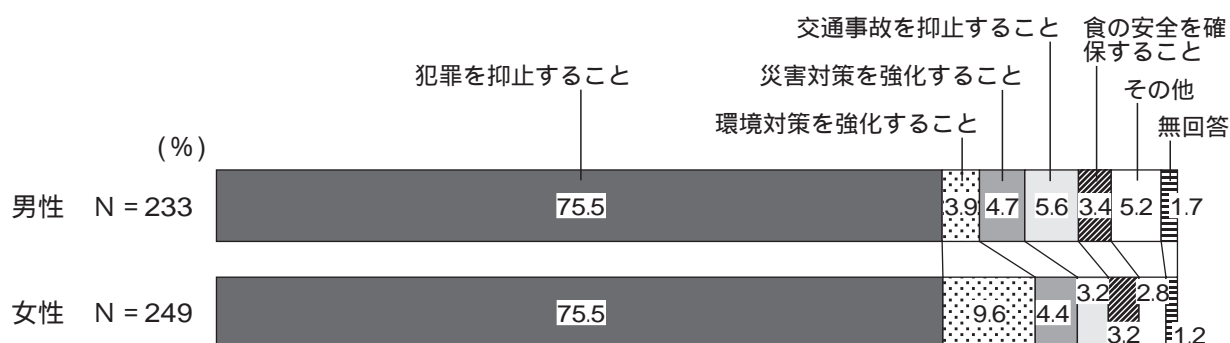


安全で安心して暮らすために最も重要なことを尋ねたところ、「犯罪を抑制すること」が75.5%、「環境対策を強化すること」が6.8%、「災害対策を強化すること」が4.6%などとなっている。

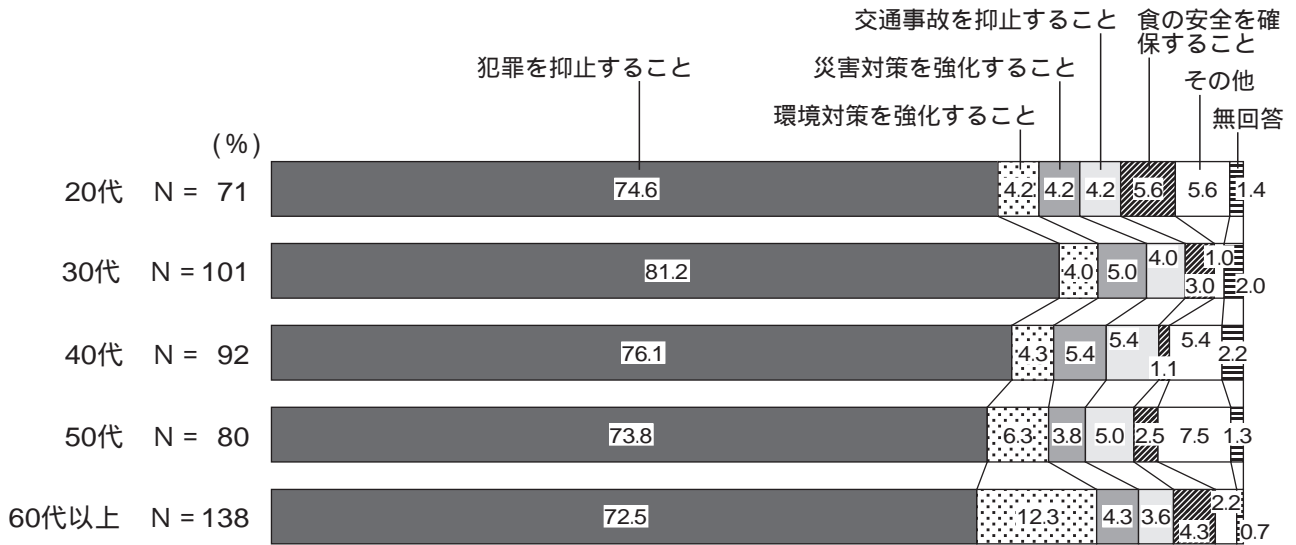
男女別にみると、「環境対策を強化すること」と答えた人の割合は、男性より女性が高くなっている。

年代別にみると、「犯罪を抑制すること」と答えた人の割合が30代で特に高く、「環境対策を強化すること」と答えた人の割合は、60代以上でやや高くなっている。

(男女別)



(年代別)



安全で安心して暮らすために最も重要なことは「犯罪を抑止すること」と答えた人が75.5%と高い割合です。

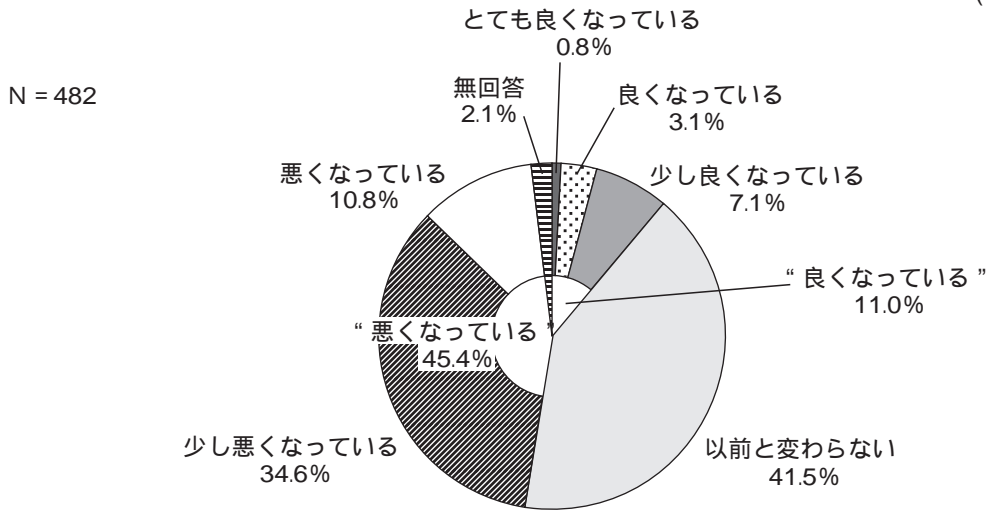
県や自治体と連携して犯罪を抑止するため、防犯意識の高揚や地域防犯力の向上に向けた取組みを一層推進します。また、防犯に配慮された公共施設などの整備を県や自治体などに働きかけることにより、犯罪を起こそうとする者に機会を与えないまちづくりを推進します。

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

2 地域の治安

問2 あなたがお住まいの地域の治安を以前（2年ほど前）と比べてどうなっていると思いますか。

（回答は1つ）

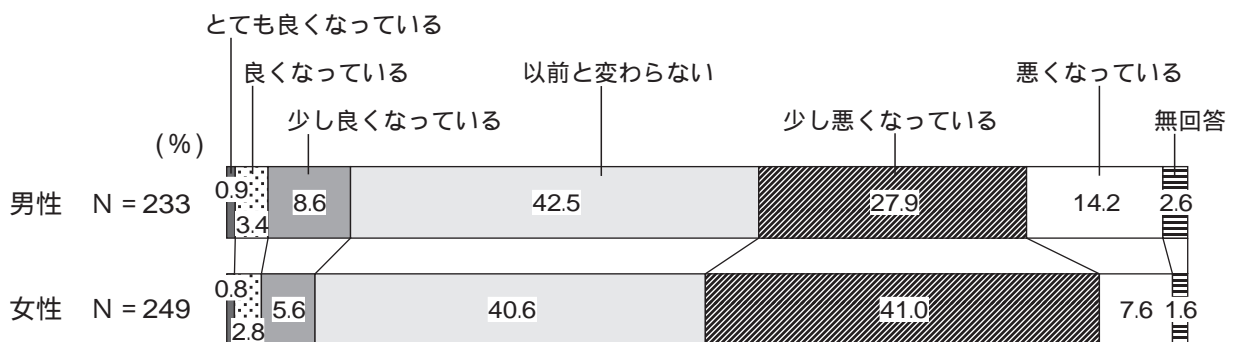


お住まいの地域の治安を以前（2年ほど前）と比べてどうなっていると思うか尋ねたところ、「とても良くなっている」0.8%、「良くなっている」3.1%、「少し良くなっている」7.1%で、合わせた「良くなっている」が11.0%に対し、「少し悪くなっている」34.6%、「悪くなっている」10.8%で、合わせた「悪くなっている」が45.4%となっている。

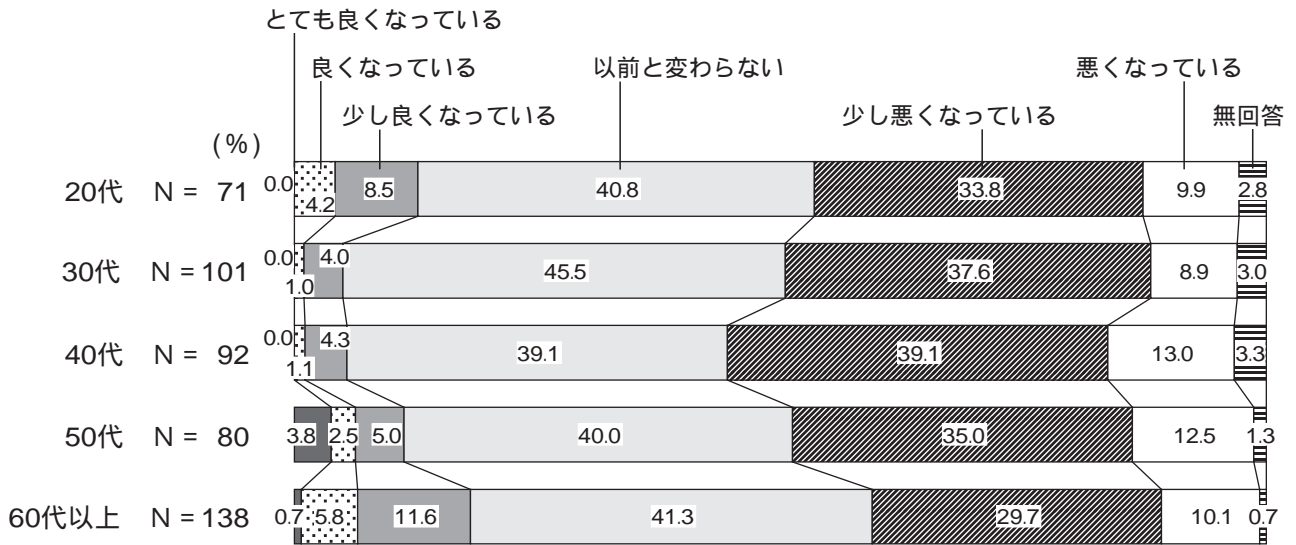
男女別にみると、「悪くなっている」と答えた人の割合は、男性より女性が高くなっている。

年代別にみると、「悪くなっている」と答えた人の割合は、40代で最も高く、60代以上で最も低くなっている。

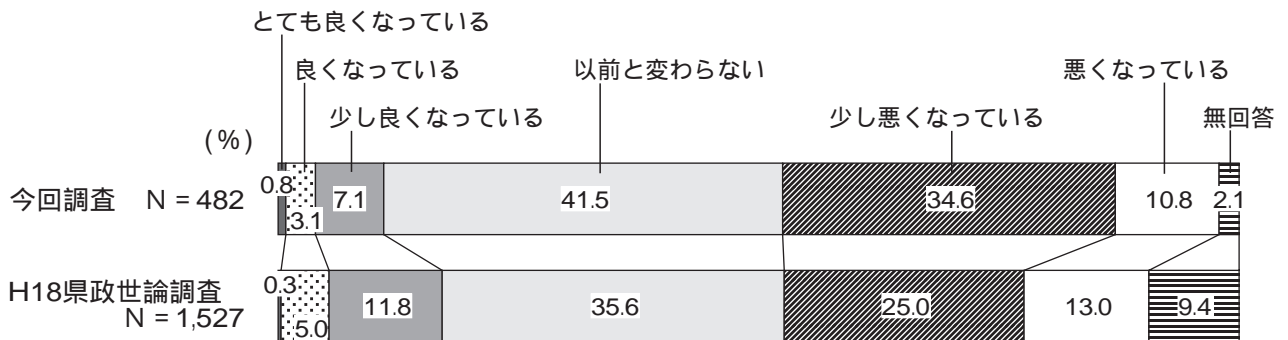
（男女別）



(年代別)



(地域の治安 (時系列比較))



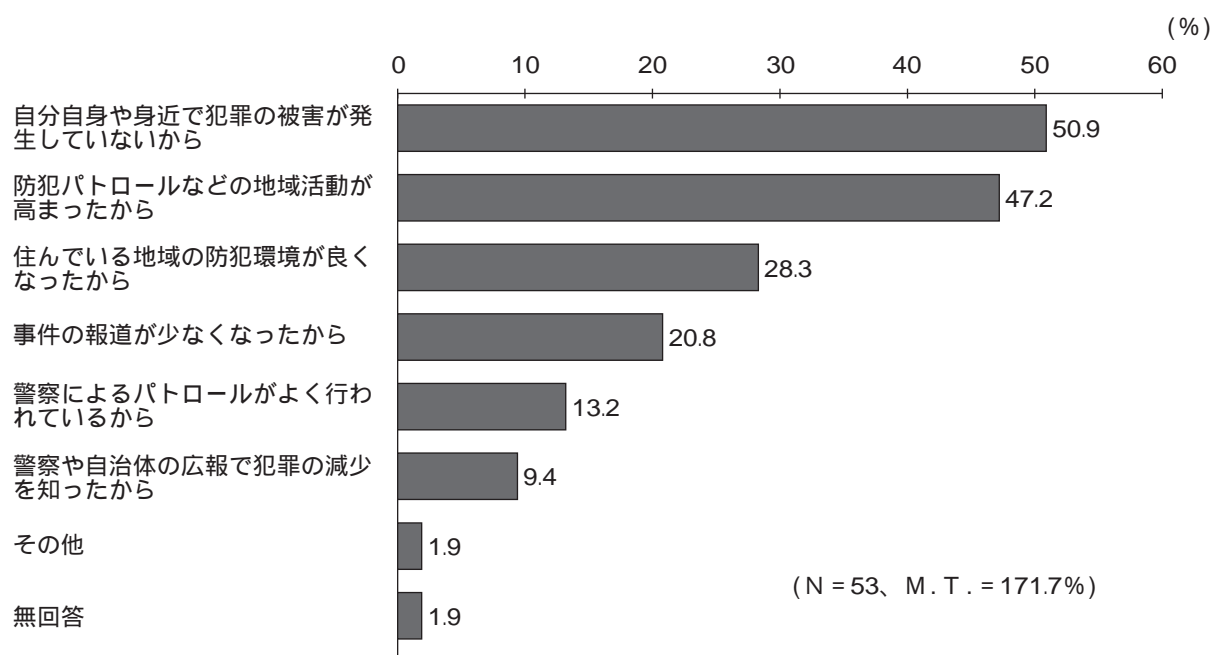
同様の質問を、平成18年の県政世論調査において実施していますが、当時は「とても良くなっている」0.3%、「良くなっている」5.0%、「少し良くなっている」11.8%で、合わせた“良くなっている”が17.1%となっており、「むしろ悪くなっている」13.0%、「少し悪くなっている」25.0%で、合わせた“悪くなっている”が38.0%でした。

当時と比較して刑法犯認知件数は減少していますが、治安が悪くなっていると回答した人の割合が増加しており、未だ県民の不安感が改善されたとはいえない状況であることが窺えます。

犯罪を減少させ、治安を回復するため、平成21年度に県・教育委員会・県警が策定した「あいち地域安全新3か年戦略」に基づいて一層連携を図り、県民や事業者などの幅広い参加を得て防犯意識の高揚を図り、防犯活動への支援を推進するなど、県、県民、事業者、市町村が一体となった県民総ぐるみ運動を展開しています。

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

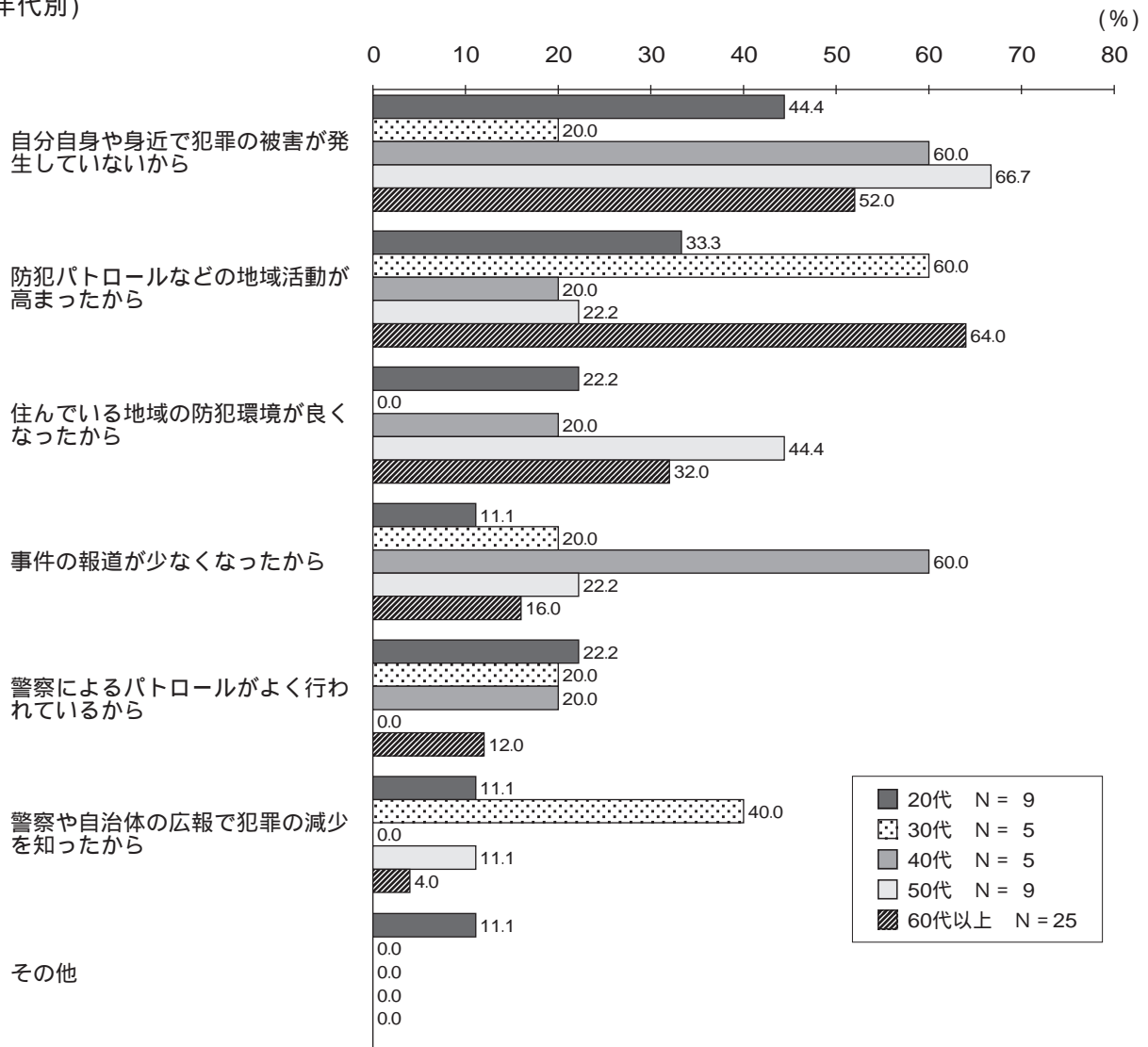
問3 問2で、「1 とても良くなっている」、「2 良くなっている」または「3 少し良くなっている」と答えた方にお聞きします。良くなった理由について記載して下さい。(回答は2つまで)



問2で、「1 とても良くなっている」、「2 良くなっている」または「3 少し良くなっている」と答えた人に良くなった理由について尋ねたところ、「自分自身や身近で犯罪の被害が発生していないから」が50.9%、「防犯パトロールなどの地域活動が高まったから」が47.2%、「住んでいる地域の防犯環境が良くなったから」が28.3%、「事件の報道が少なくなったから」が20.8%などとなっている。

年代別にみると、「自分自身や身近で犯罪の被害が発生していないから」と答えた人の割合は40代、50代で高く、「防犯パトロールなどの地域活動が高まったから」と答えた人の割合は30代と60代以上で高くなっている。

(年代別)



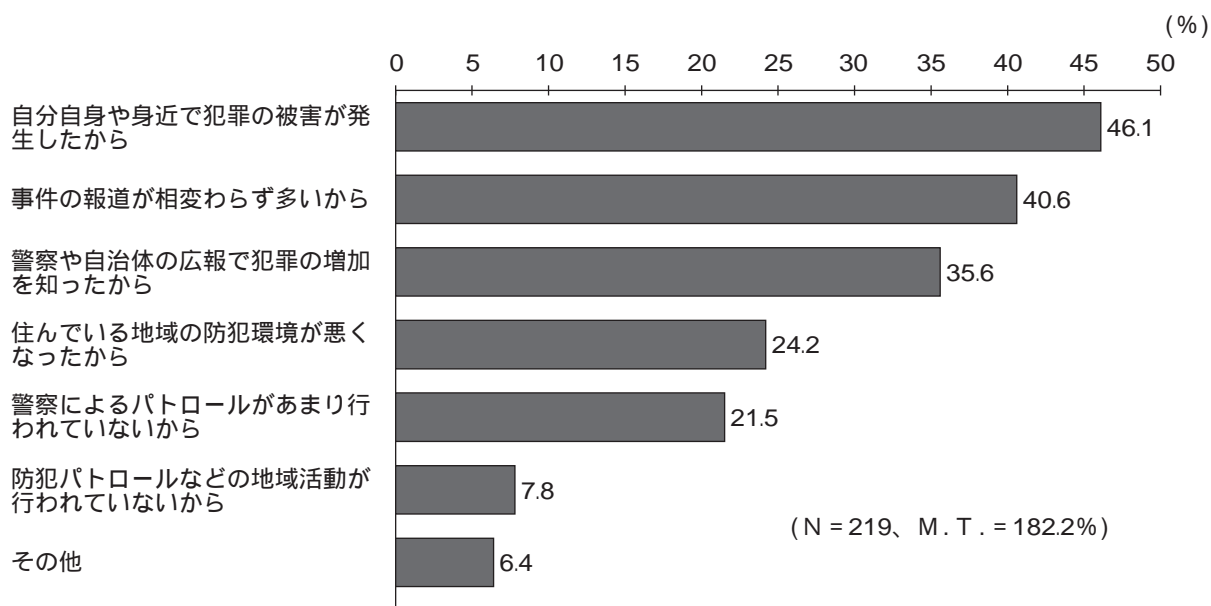
地域の治安が“良くなっている”と答えた人の理由について、30代の方は、他の年代に比べ、「自分自身や身近で犯罪が発生していないから」と回答した人の割合が低いですが、「防犯パトロールなどの地域活動が高まったから」、「警察や自治体の広報で犯罪の減少を知ったから」と回答した人の割合が高くなっています。これは、30代の方は、子どもを持つ人が多い年代であり、他の年代と比べ、子どもの安全に対する関心が高かったり、学校やPTA等を通じて地域の防犯パトロール活動や犯罪の情報が伝えられているなどの理由ではないかと考えられます。一方で、他の世代の人には、十分に地域の犯罪情報等が伝わっていないことが考えられます。

また、「防犯パトロールなどの地域活動が高まったから」と回答した人の割合は30代のほか60代以上も高く、自ら地域で防犯パトロールを行っていたり、子どもを守るためなどの防犯パトロールが行われていることを知っている人が多いためであると考えられます。

どの世代の人に対しても防犯情報が行き届くよう、引き続き各種媒体により情報を提供し、自治体や地域、企業等を通じて防犯情報を提供するほか、学生や社会人などの現役世代の防犯ボランティア活動への参加を促進するなど、地域の自主防犯パトロールの活性化に努めます。

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

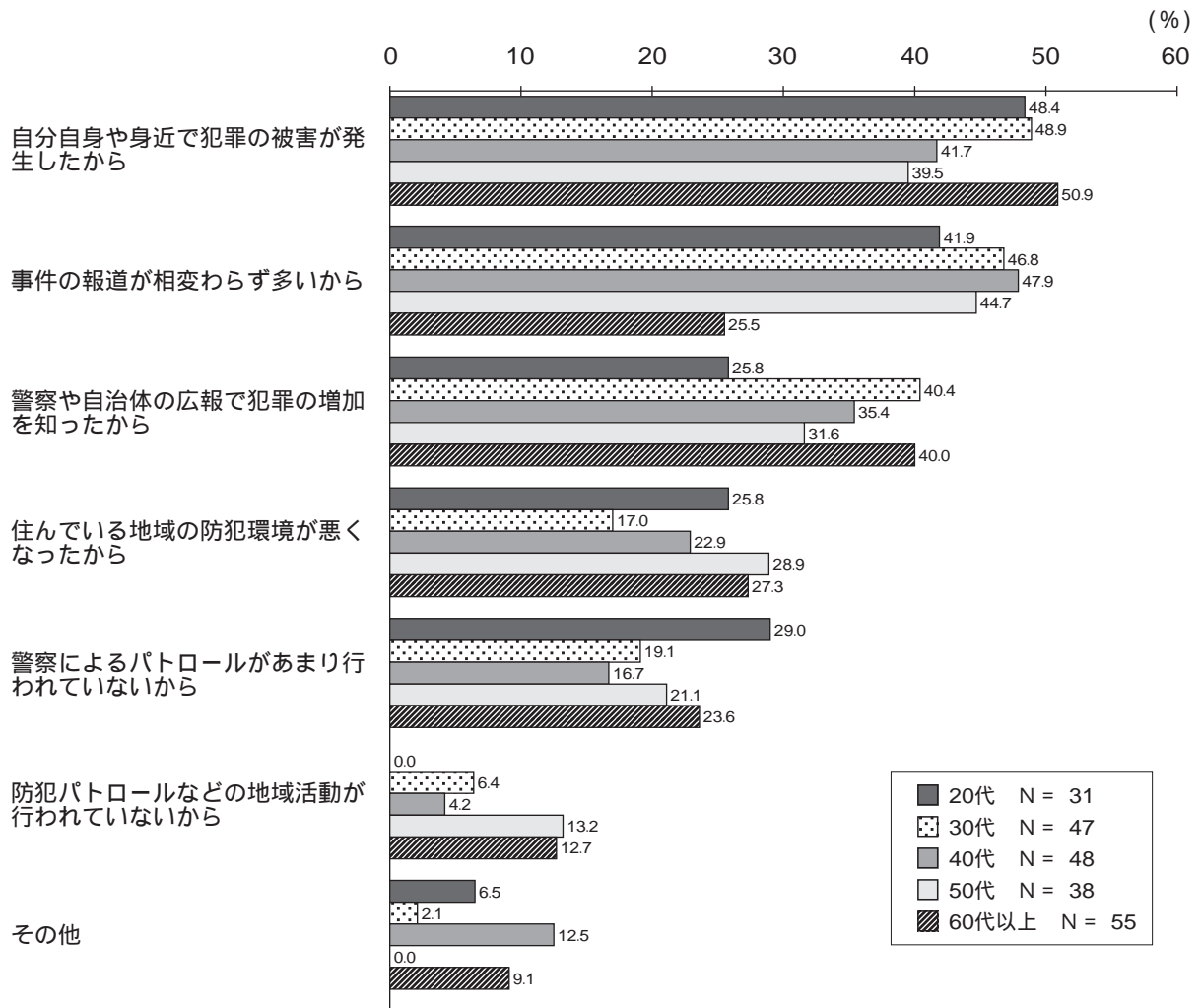
問4 問2で、「5 少し悪くなっている」または「6 悪くなっている」と答えた方にお聞きします。悪くなった理由について記載して下さい。(回答は2つまで)



問2で、「5 少し悪くなっている」または「6 悪くなっている」と答えた人に悪くなった理由について尋ねたところ、「自分自身や身近で犯罪の被害が発生したから」が46.1%、「事件の報道が相変わらず多いから」が40.6%、「警察や自治体の広報で犯罪の増加を知ったから」が35.6%、「住んでいる地域の防犯環境が悪くなったから」が24.2%などとなっている。

年代別にみると、「自分自身や身近で犯罪の被害が発生したから」と答えた人の割合は、20代、30代、60代以上で高く、「事件の報道が相変わらず多いから」と答えた人の割合は、30代、40代で高くなっている。

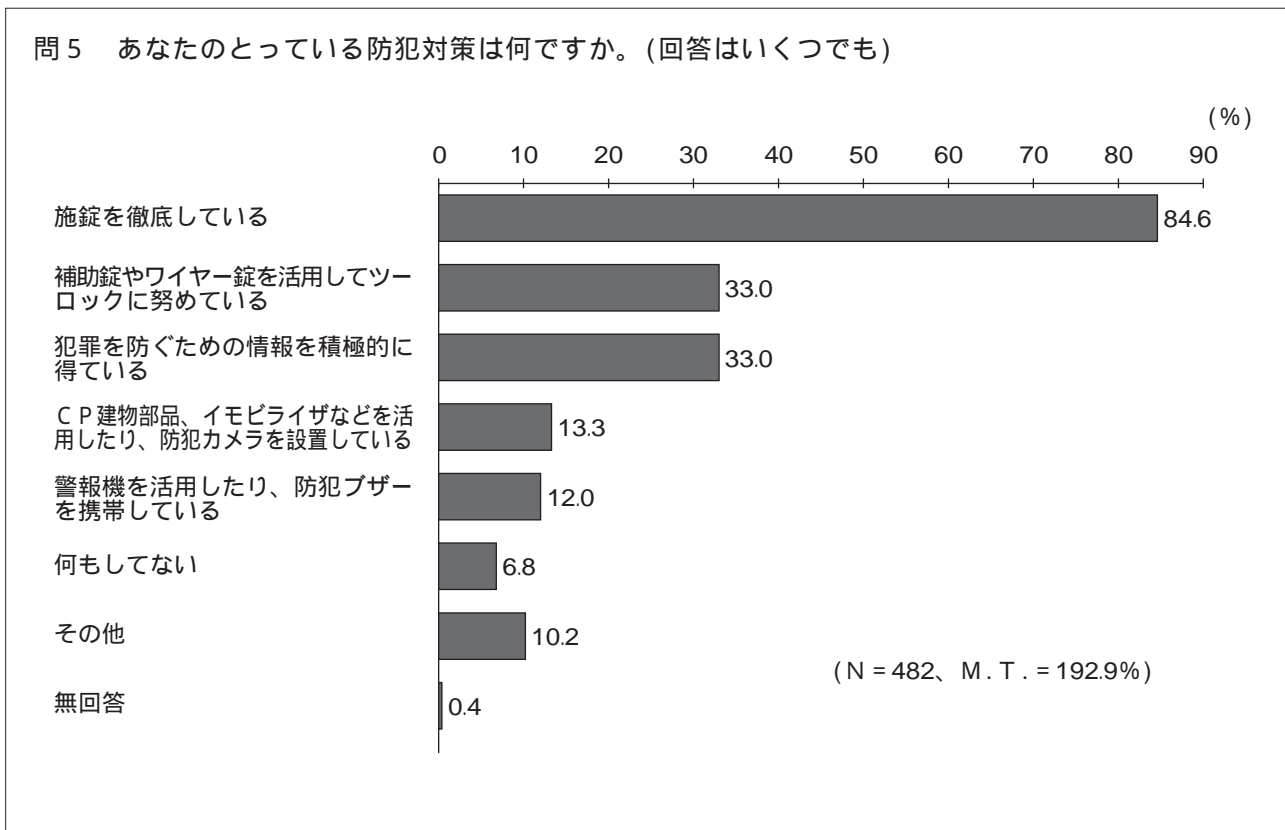
(年代別)



地域の治安が“悪くなっている”と答えた人の理由として、「自分自身や身近で犯罪の被害が発生したから」と回答した人のうち、40代、50代の人割合が他の年代と比べ約10%低くなっています。これは、40代、50代の人には、地域の犯罪情報が他の年代に比べ、十分に行き届いていないということが考えられます。

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

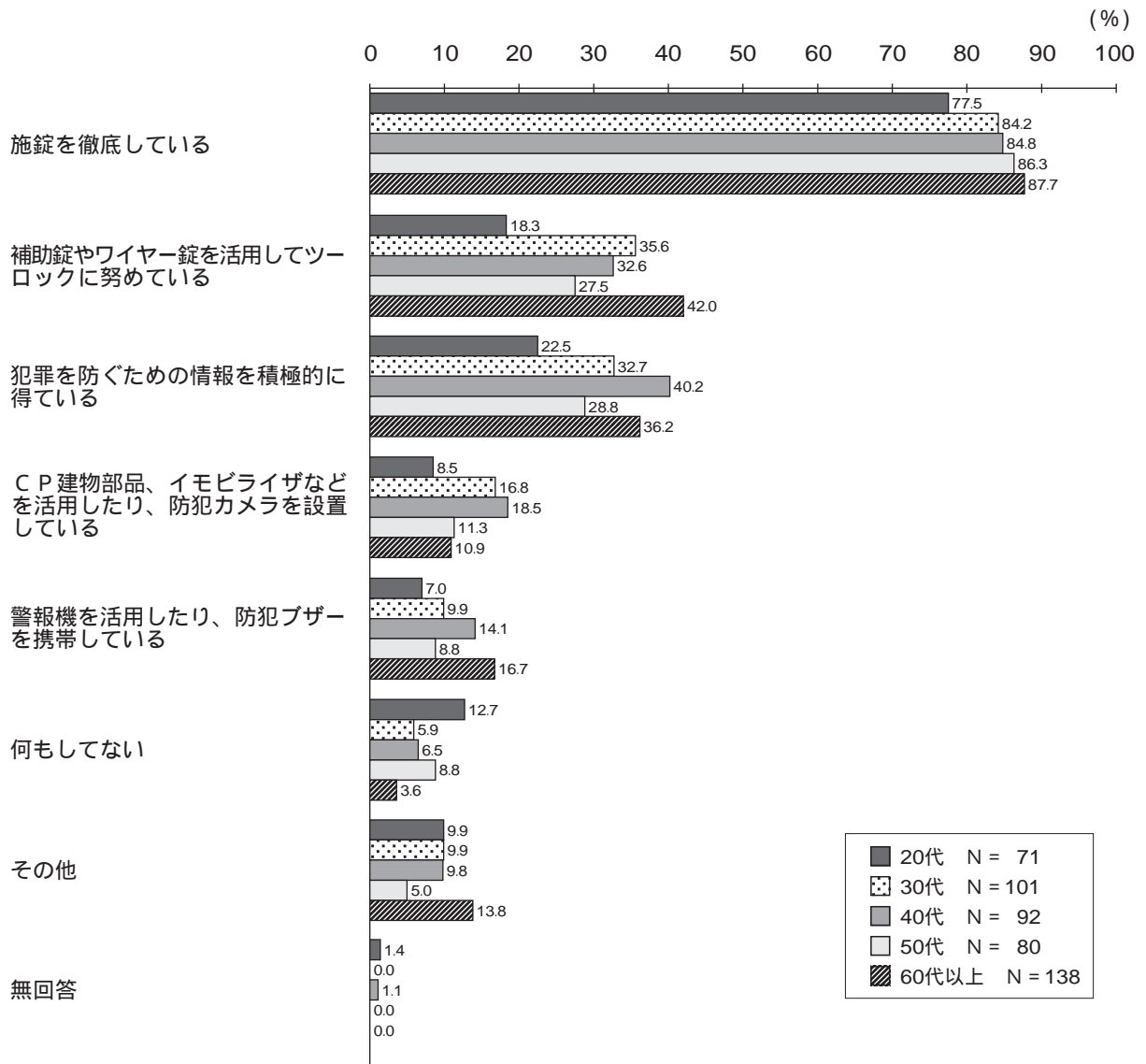
3 あなたのとっている防犯対策



あなたのとっている防犯対策は何か尋ねたところ、「施錠を徹底している」が84.6%、「補助錠やワイヤー錠を活用してツーロックに努めている」が33.0%、「犯罪を防ぐための情報を積極的に得ている」が33.0%などとなっている。

年代別にみると、「何もしていない」と答えた人の割合は、20代が最も高く、防犯対策についても20代の実施割合が低い。

(年代別)



「施錠を徹底している」と回答した人が84.6%と最も多く、「何もしていない」と回答した人が6.8%となっています。

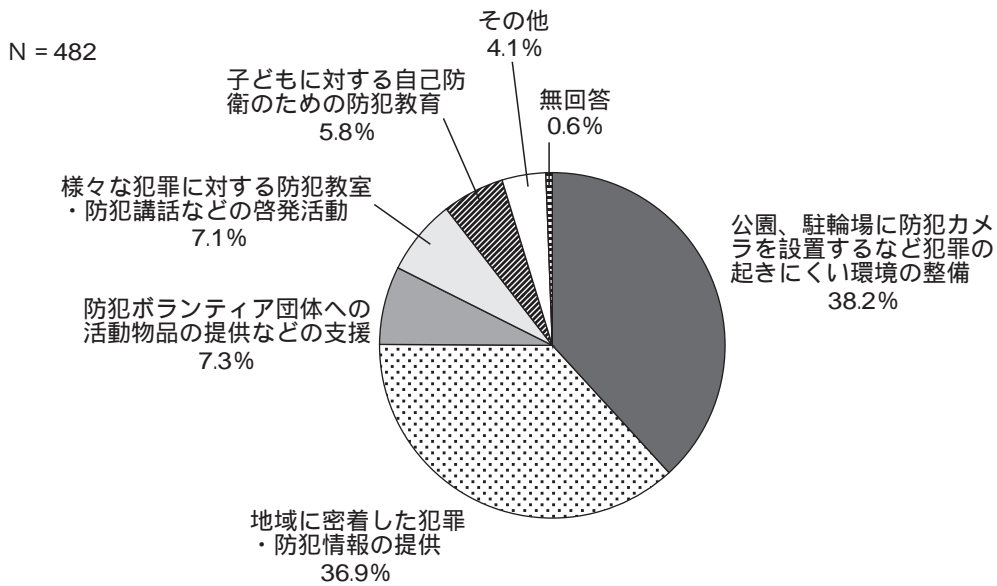
施錠は防犯の基本です。しかし、自動車盗の76.2%、住宅対象侵入盗の69.7%、自転車盗の53.6%が施錠をしても盗難被害に遭っています。被害を防止するためには施錠だけでは不十分です。防犯機器を活用するなどカギ掛けプラスワンの対策が不可欠であり、対策をとった分だけ危険を回避することができます。

(文中の数字は平成22年8月末の犯罪統計公表値に基づく)

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

4 自治体に望む防犯対策

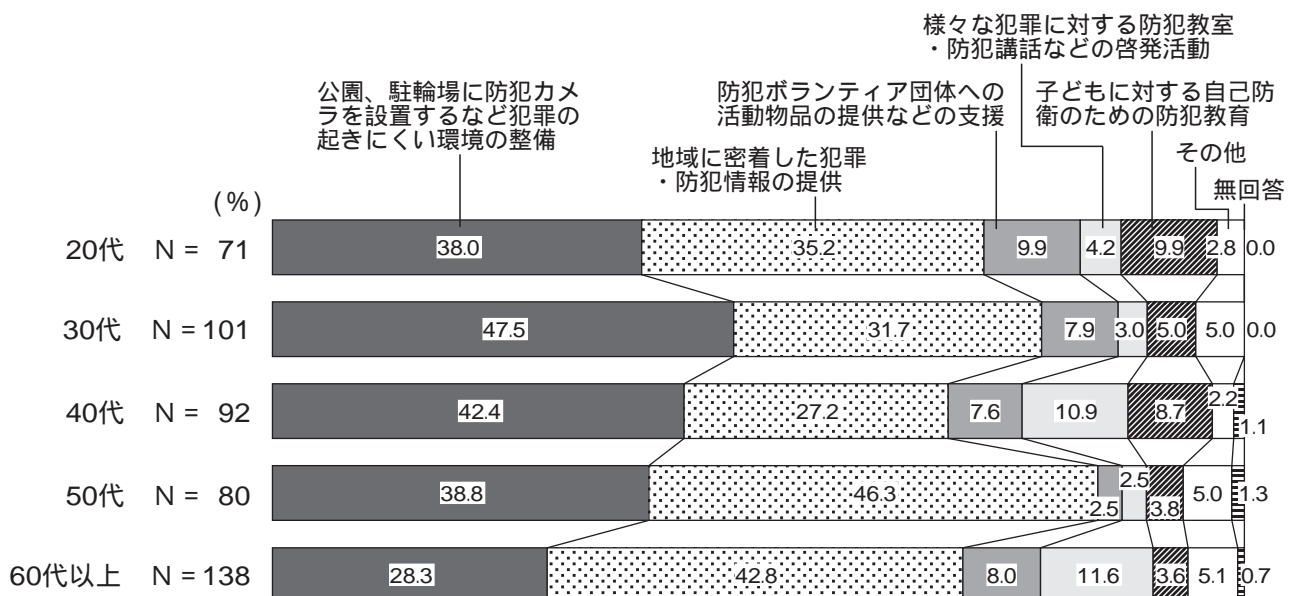
問6 自治体に対して、最も望む防犯対策は何ですか。(回答は1つ)



自治体に対して、最も望む防犯対策は何か尋ねたところ、「公園、駐輪場に防犯カメラを設置するなど犯罪の起きにくい環境の整備」が38.2%、「地域に密着した犯罪・防犯情報の提供」が36.9%、「防犯ボランティア団体への活動物品の提供などの支援」が7.3%などとなっている。

年代別にみると、30代、40代では「公園、駐輪場に防犯カメラを設置するなど犯罪の起きにくい環境の整備」と答えた人の割合が高く、50代、60代以上では「地域に密着した犯罪・防犯情報の提供」と答えた人の割合が高くなっている。

(年代別)



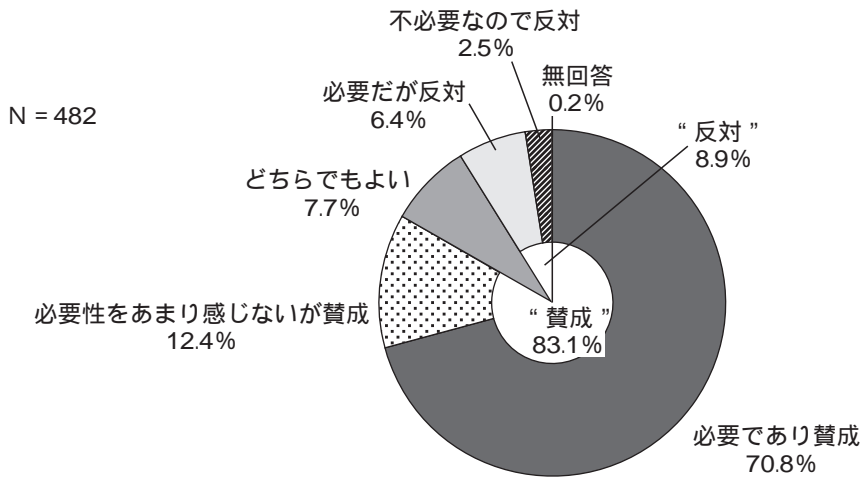
自治体に最も望む防犯対策として「公園、駐輪場に防犯カメラを設置するなど犯罪の起きにくい環境の整備」が38.2%と最も高い割合となっています。自由意見においても防犯カメラの設置や街灯の増設による明るさの確保などの犯罪の起きにくい環境の整備を望む意見が多く見られました。

今後も県や自治体などに働きかけ、犯罪の起きにくい環境の整備のために愛知県安全なまちづくり条例の「防犯上の指針」に基づく防犯に配慮した住宅、公園、道路などの整備を促進します。

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

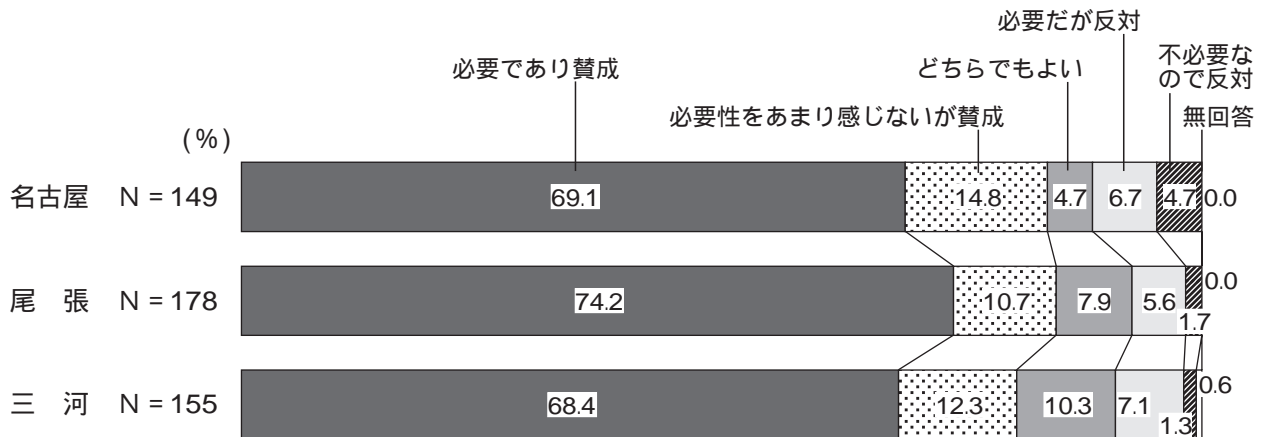
5 防犯カメラの設置

問7 公共の場における防犯カメラの設置についてどう思いますか。(回答は1つ)

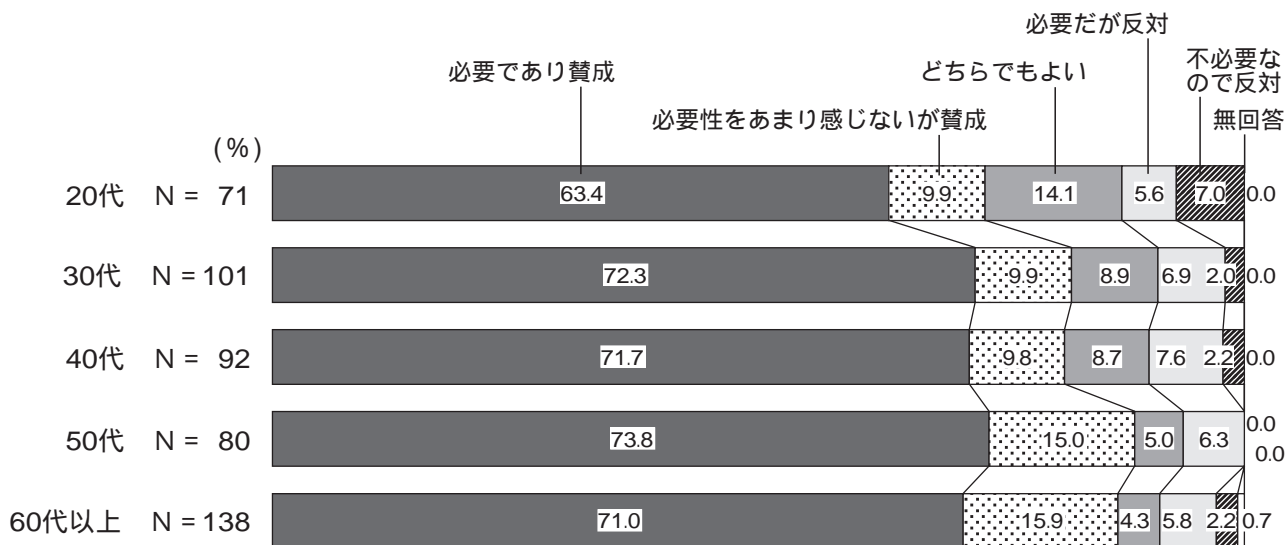


公共の場における防犯カメラの設置についてどう思うか尋ねたところ、「必要であり賛成」70.7%、「必要性をあまり感じないが賛成」12.4%で、合わせた“賛成”が83.1%に対し、「必要だが反対」6.4%、「不必要なので反対」2.5%で、合わせた“反対”が8.9%となっており、「どちらでもよい」は7.7%となっている。

(地域別)



(年代別)



地域別、年代別にみても、「必要であり賛成」、「必要性をあまり感じないが賛成」を合わせた“賛成”の人の割合がいずれも高く、大多数の人が公共の場における防犯カメラ設置の必要性を感じており設置に賛成だと分かります。

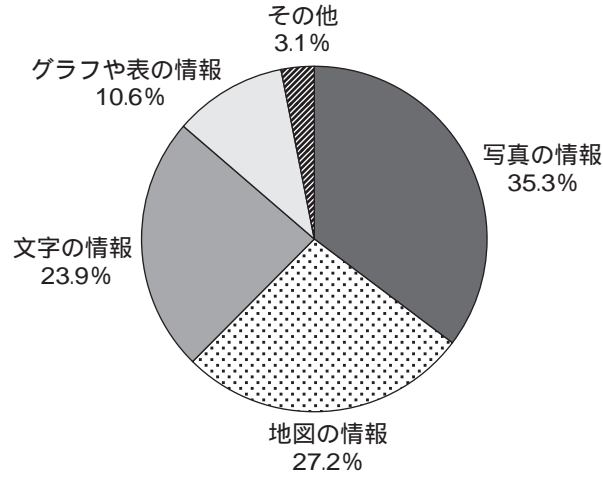
今後も自治体に対して、公共の場における防犯カメラの設置を促進するほか、大規模小売店舗を始めとした事業者や県民に対して、防犯カメラの設置による効果や管理・運営方法を説明するなどして、防犯カメラの設置を促進します。

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

6 身近に感じる防犯情報

問8 犯罪発生状況について、どのような情報がより身近に感じますか。(回答は1つ)

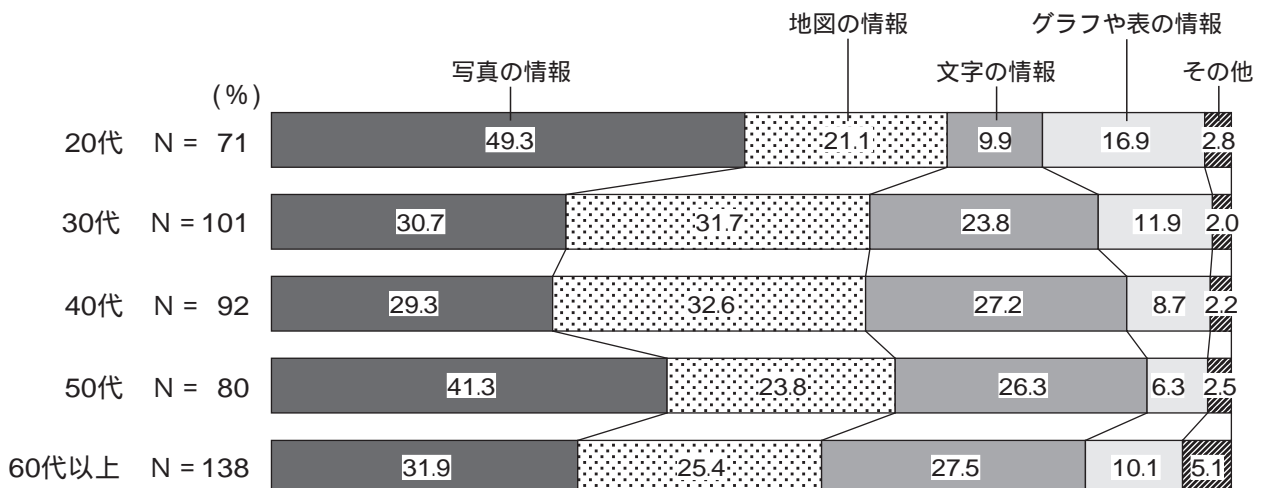
N = 482



犯罪発生状況について、どのような情報がより身近に感じるか尋ねたところ、「写真の情報」が35.3%、「地図の情報」が27.2%、「文字の情報」が23.9%、「グラフや表の情報」が10.6%などとなっている。

年代別にみると、20代と50代以上では、「写真の情報」と答えた人の割合が高く、30代、40代では、「地図の情報」と答えた人の割合が高くなっている。

(年代別)



写真の情報、地図の情報がより身近に感じるとの意見が多くを占めています。

愛知県警察では、県を始めとした各自治体に犯罪発生状況を提供しているほか、ホームページや広報誌など各種媒体を利用した情報提供を行っています。また、メールマガジン「パトネットあいち」では、登録者に対して身近な犯罪情報などをメール配信しています。今後もみなさんの意見を踏まえ、分かりやすく防犯に役立つ情報提供を推進します。

パトネットあいち登録方法

1 QRコード読み取り機能付き携帯電話

QRコード読み取り機能付き携帯電話から接続、[パトネットあいち登録はこちら]を選択すると空メール送信画面にすることが出来、返信されたメールから登録が出来ます。

QRコード



2 QRコード読み取り機能がない携帯電話、パソコン

以下のメールアドレス

m.patnet@cep.jp

へ空メールを送信後、返信されたメールから登録をお願いします。

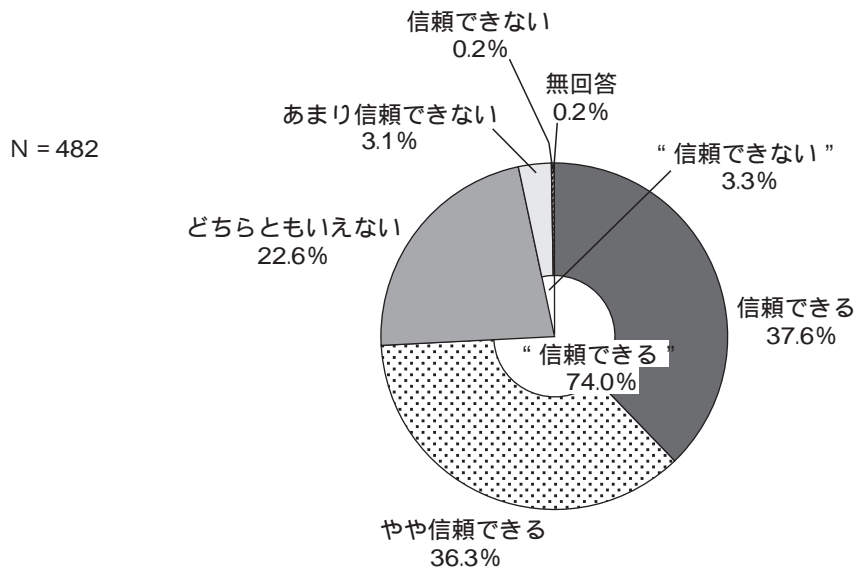
(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

7 CSR活動（企業の社会貢献活動）に取り組む企業

問9 CSR活動（企業の社会貢献活動）を積極的に取り組む企業をどう思いますか。

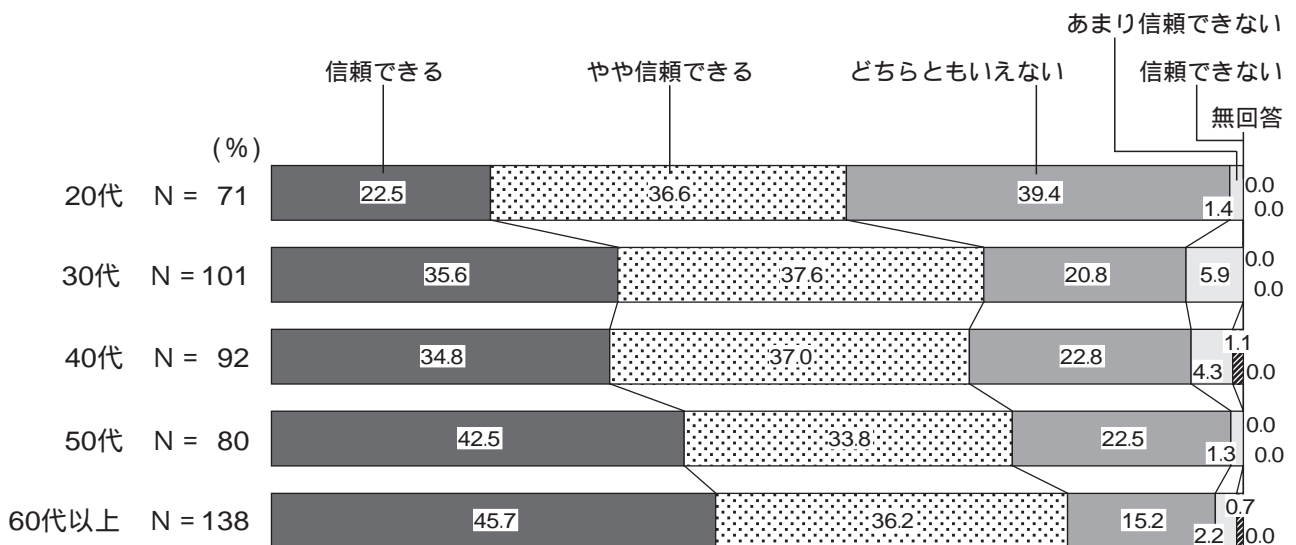
（回答は1つ）



CSR活動（企業の社会貢献活動）を積極的に取り組む企業をどう思か尋ねたところ、「信頼できる」37.6%、「やや信頼できる」36.3%で、合わせた「信頼できる」が74.0%、「あまり信頼できない」3.1%、「信頼できない」0.2%で、合わせた「信頼できない」が3.3%、「どちらともいえない」が22.6%となっている。

年代別にみると、「信頼できる」と答えた人の割合は、概ね年代が上がるほど高くなっている。

（年代別）



CSR活動は、企業の社会的責任として、その企業が関係する地域社会などに対し、貢献する活動に継続的に取り組み、企業と社会の持続的な発展を図ろうとするものです。

現在こうした活動に取り組む企業は増加傾向にあり、愛知県内の企業でも地域で暮らす人々の安心・安全のため、CSR活動の一環として

- ・営業車を利用した防犯パトロールを実施
- ・自治会と合同で青色回転灯装備のパトロールカーを使った防犯パトロールを実施
- ・子どもの安全確保を目的として、県内の小学1年生に対し防犯ホイッスルを贈呈

などの防犯活動を行っている企業があります。

今後もCSR活動の一つとして防犯活動を促進します。

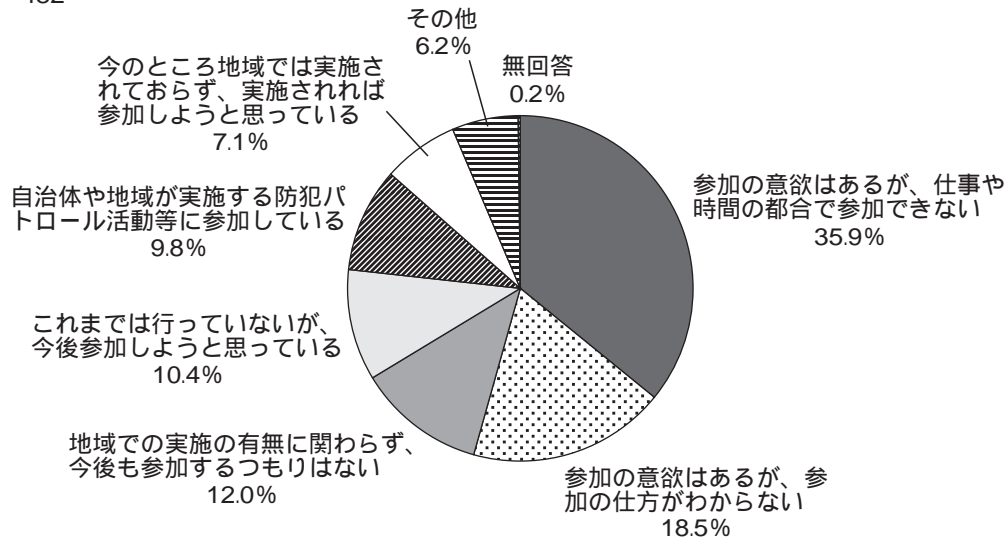
(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

8 防犯パトロール活動への参加意思

問10 あなたは、地域における防犯パトロール活動等に参加したいと思っていますか。

(回答は1つ)

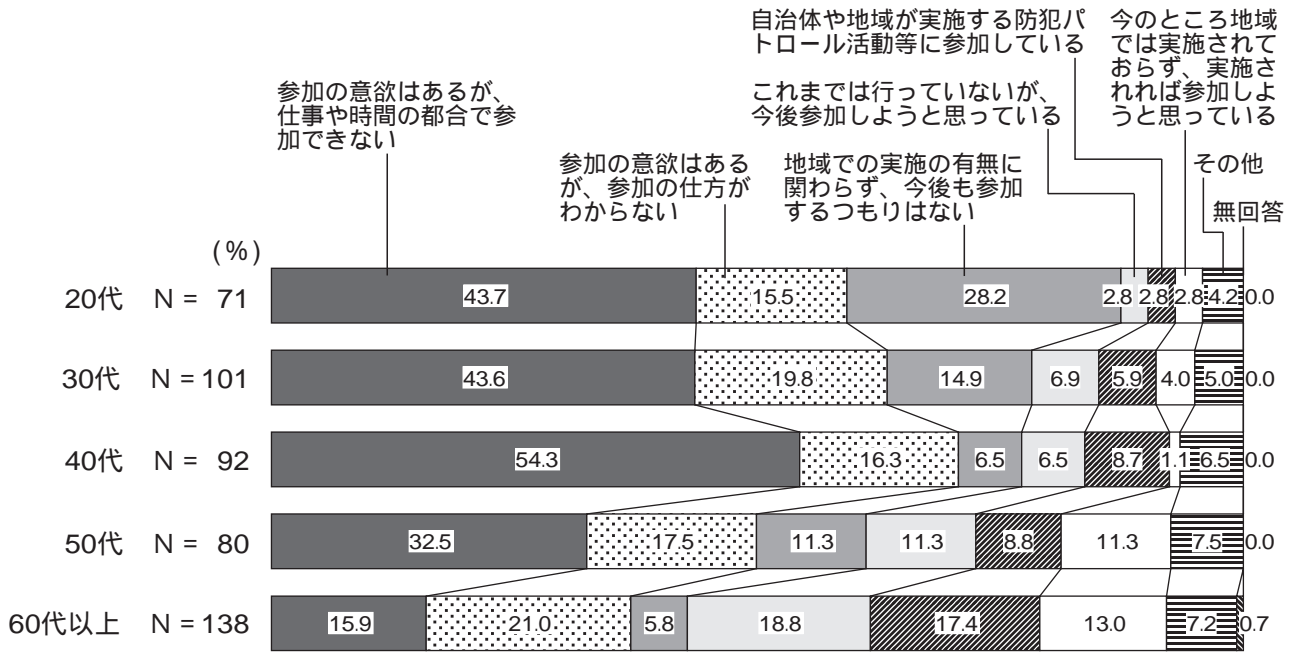
N = 482



地域における防犯パトロール活動等に参加したいと思うか尋ねたところ、「参加の意欲はあるが、仕事や時間の都合で参加できない」が35.9%、「参加の意欲はあるが、参加の仕方がわからない」が18.5%、「地域での実施の有無に関わらず、今後も参加するつもりはない」が12.0%、「これまでは行っていないが、今後参加しようと思っている」が10.4%などとなっている。

年代別にみると、「参加の意欲はあるが、仕事や時間の都合で参加できない」と答えた人の割合は、20代から50代までで高く、防犯パトロール活動等に参加している、または、今後参加しようと思っている人の割合は、概ね年代が上がるにつれ高くなっている。

(年代別)



年代別に見ると、「既に自治体や地域が実施する防犯パトロール等に参加している」と答えた人の割合は、60代以上で最も多く、年齢が低くなるにつれて参加している割合が低くなっています。

また、「参加の意欲はあるが、仕事や時間の都合で参加できない」と答えた人の割合は、40代が最も高くなっており、「参加の意欲はあるが、参加の仕方がわからない」と答えた人の割合は、各世代で15%から21%となっており、防犯パトロール等へ参加していないものの参加意欲はある人が多いことが分かります。

防犯パトロールを始めとした自主防犯活動は、地域の防犯力を高める上で欠かせません。また、高齢化やメンバーの固定化といった問題を解決して活動の活性化を図るためには、学生や社会人などの現役世代のみなさんの参加が重要です。

今後も、県や自治体と連携して、自主防犯ボランティア団体の設立促進や活動支援を推進し、自主防犯ボランティア団体による活動の活性化を図ります。

(愛知県警察本部生活安全部地域安全対策課)

9 自由意見

問11 住民の方が安全で安心して暮らせるまちづくりのために、自治体は何をすべきだと思いますか。
(自由記載)

安全で安心して暮らせるまちづくりのために、自治体は何をすべきかについて、自由に意見を記入していただいたところ、595件の意見が寄せられた。それらを大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

項 目		件 数
(1) 自治体、ボランティア等による防犯パトロール活動の実施等について		130
(2) 防犯カメラや街灯の設置等犯罪の起きにくい環境の整備について	ア 防犯カメラや街灯の設置等	83
	イ 防犯機器や防犯設備の支給、補助金制度等の実施	12
	ウ 環境整備・美化活動の実施	9
(3) 防犯意識を醸成するための情報提供や防犯教室等について	ア 情報提供活動の実施	80
	イ 防犯教室、防犯キャンペーン等の実施	39
(4) 警察活動、体制の強化について		63
(5) 地域コミュニティの活性化について		48
(6) 子どもに対する防犯教育について		24
(7) その他の防犯活動について		87
(8) 防犯対策以外について		20
合 計		595

(1) 自治体、ボランティア等による防犯パトロール活動の実施等について

自治体で防犯パトロール等を実施する。

町内を防犯パトロールしている方とよく会い、とても安心する。みなさん忙しいと思うが、パトロールをする機会を多くして欲しい。

人の目があることが犯罪抑止に効果があると思うので、自治体には、こうした住民の活動を促したり、補助したりして欲しい。

ボランティアによる防犯パトロールが随時行われており、防犯につながっている。

地域活動としての防犯パトロールの強化。

各世代毎に出来得る時間帯を分けるなど防犯パトロールを更に充実させる。

防犯パトロール隊などを見かけるが、高齢者ばかり。若者にも呼びかけてパトロールなど出来ないものか。もっと気軽に参加できるようなシステム作りが必要。

安全パトロールへの人・物・金の積極的な投入に取り組んで欲しい。

防犯はどれだけ多くの人に関心が集まるかが大切だと思う。私の地域では「ウォーキング、犬の散歩、畑仕事、買い物など外に出る時間を子どもの登下校の時間に合わせてくれると助かります」という連絡がある。こういった呼びかけ、全体の音頭取りを自治体に望む。

小学生が登下校する時間帯にシルバーさんのような方々が踏切や横断歩道に立って子どもたちの安全を守ってくれている。その光景を見ているだけでほっとするし、犯罪も防げるような気がする。

子ども110番の家を増やして欲しい。また、常時人のいる商店などに協力を要請した方がよいと思う。

(2) 防犯カメラや街灯の設置等犯罪の起きにくい環境の整備について

ア 防犯カメラや街灯の設置等

防犯カメラの設置は賛否両論あると思うが、カメラの存在自体が犯罪の抑止力になることは確かだと思うので、プライバシーに配慮しつつもカメラの充実を望む。

夜でも駅から住宅街へ女性一人で安心して帰宅できるように、街灯や防犯カメラの設置を増やすこと。

公園は安心して遊べる場所ではないので、是非防犯カメラの設置や明るいトイレの設置などを望む。

防犯カメラ及び街灯を、企業名の掲出など企業のスポンサーシップで設置箇所を拡大する。

イ 防犯機器や防犯設備の支給、補助金制度等の実施

犯罪防止物品購入の助成金の交付など身近なことからの防犯が大切だと思う。

自分自身でも様々なことに対して意識して行動することが大事なので、防犯ブザーを持ち歩くように促したり、イベントで対策グッズを配布するのが良いと思う。

ウ 環境整備・美化活動の実施

落書きを消して、地域をきれいにして環境整備をすれば、犯罪も少し減るのではないかと思う。

通りに面しているところの花壇を整備してお花を植えたところ、犬の散歩などで汚されることが減った。これは防犯にも通じる点だと思う。みんなで実行すれば更になんらかの効果があると思う。

放置自転車、不法投棄が多い箇所は犯罪が起きやすいと思うので、きれいな街を作る。

(3) 防犯意識を醸成するための情報提供や防犯教室等について

ア 情報提供活動の実施

地域で通り魔が多発しているのに、それをあまり地域の人が知らない。学生ときはそういう情報がすぐに手に入ったのに、社会人になり情報が減った。事件が発生したら地域の住民に情報が行き渡るようにしてほしい。

実際に被害に遭ってしまった人からの話を取り上げた方が、より危機感を持って防犯活動に取り組めるようになると思う。

犯罪情報や事故多発箇所、環境に問題のあるポイントなどを共通フォーマットにて記録、ネットで自由に閲覧できる環境を構築し、自治体や住民などがその情報を自由に追加できるような仕組みがあると、手軽に調べられ警戒できるようになると思う。

報道されない事件・犯罪など身近な地域での情報を得ることが出来にくい。定期的に知らせて欲しい。

イ 防犯教室、防犯キャンペーン等の実施

知人がひったくり被害に遭ったり、自分の家の近くでひったくり事件があったりと、いつ何時自分も犯罪被害に遭うか分からず不安になる。被害に遭わないための具体的な予防法や、対処法等を参加者が体験できる形の講習会で教えて欲しい。

犯罪に対する防犯教室、防犯講話を、例えば選挙の投票会場の横や保健所の健康診断の隣でやるとか、ついでに参加できるような機会があるといいと思う。

住民が気軽に参加し易い防犯対策などの集会をもっと増やすべき。

防犯やゴミ捨てマナーなどに関するチラシやポスターを各家庭に配布し、張り出すことで見た人が悪事を控えるようにし、安心して歩けるまちになって欲しい。

自治体が、県民・事業者に対して積極的に防犯意識の向上に努めるべきだと思う。

隣近所が常に防犯意識を持つように自治体が啓発活動をする。

(4) 警察活動、体制の強化について

ひったくり事件が続いているのでとても不安。とにかく犯人検挙に力を尽くして欲しい。

警察官を増員して交番を増やして欲しい。

警察と家庭の関係が薄くなっている。交番の家庭訪問を増やして欲しい。

パトロールを増やして欲しい。

(5) 地域コミュニティの活性化について

高齢者の所在不明のニュースが続いているが、人と人との繋がりが希薄になっていることが原因に思う。防犯とか安心して暮らすまちづくりの基盤には、やはり近所の人との繋がりが非常に重要。

昔のように近所付き合いがあれば、もう少し違うのではないか。地域や自治体でイベントや交流する場を増やし顔を覚えてもらうだけでも違うと思う。

住民を把握して、コミュニケーションできるようにして、外部からの不審者を監視できる体制が必要。

地域内の繋がりが密接なものになるように、援助・支援すること。また、そのために活動する人の育成。

それぞれの地域にあったコミュニティづくりの場を提供して欲しい。

自治体の防犯教室や講話に参加しない人たちにこそ声を掛けることから始めるべき。原点にもう一度戻り、人と人の繋がりが重要。

(6) 子どもに対する防犯教育について

子どもの頃からの道徳教育などモラル（規範意識）を向上させる教育が必要。

まずは子どもたちに身近で、真の防犯の精神を教えることで将来の防犯に繋げる必要があると思う。

学校教育の授業の一部に犯罪防止について教える。

(7) その他の防犯活動について

自治体が住民を巻き込んで住民による活動が盛り上がるのが安全な環境にするのにはなくてはならないものだと思う。

警察や消防、ボランティア団体などと連携を更に深め、地域の安全なまちづくりを積極的に推進していくことが大切。

犯罪を未然に防ぐための方策を各地域の住民でそれぞれ考えるのではなく、自治体と一緒に防犯思想を深め、具体的に活動する必要がある。

あらゆる犯罪を厳罰化・規制強化をするべき。

犯罪は衣食が足りていないと増えると思うので、まず景気を良くして余裕のある暮らしが出来るようにして欲しい。

誰がどこに住んでいるのか、本当に住民票のある場所に住んでいるのか実態を把握することが第一だと思う。

(8) 防犯対策以外について

交通事故防止教室の開催、交通違反取締りの強化など交通事故防止対策を強化して欲しい。

雇用機会の増大などの景気回復対策に力を入れて欲しい。

河川の増水情報の通知や災害時の対策に力を入れて欲しい。

質問と回答 (単位...「総数」：人、「総数」以外：%、四捨五入により合計は必ずしも100%にならない)

1 安全で安心して暮らすために重要なこと

問1 安全で安心して暮らすために最も重要なことは何だと思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 犯罪を抑止すること	75.5	75.5	75.5	76.5	75.3	74.8	74.6	81.2	76.1	73.8	72.5
2 交通事故を抑止すること	4.4	5.6	3.2	3.4	6.2	3.2	4.2	4.0	5.4	5.0	3.6
3 災害対策を強化すること	4.6	4.7	4.4	1.3	6.2	5.8	4.2	5.0	5.4	3.8	4.3
4 食の安全を確保すること	3.3	3.4	3.2	3.4	3.4	3.2	5.6	3.0	1.1	2.5	4.3
5 環境対策を強化すること	6.8	3.9	9.6	7.4	5.6	7.7	4.2	4.0	4.3	6.3	12.3
6 その他	3.9	5.2	2.8	4.7	2.8	4.5	5.6	1.0	5.4	7.5	2.2
無回答	1.5	1.7	1.2	3.4	0.6	0.6	1.4	2.0	2.2	1.3	0.7

2 地域の治安

問2 あなたがお住まいの地域の治安を以前(2年ほど前)と比べてどうなっていると思いますか。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 とても良くなっている	0.8	0.9	0.8	1.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.7
2 良くなっている	3.1	3.4	2.8	1.3	5.1	2.6	4.2	1.0	1.1	2.5	5.8
3 少し良くなっている	7.1	8.6	5.6	5.4	8.4	7.1	8.5	4.0	4.3	5.0	11.6
4 以前と変わらない	41.5	42.5	40.6	45.0	38.8	41.3	40.8	45.5	39.1	40.0	41.3
5 少し悪くなっている	34.6	27.9	41.0	36.9	32.6	34.8	33.8	37.6	39.1	35.0	29.7
6 悪くなっている	10.8	14.2	7.6	8.7	12.4	11.0	9.9	8.9	13.0	12.5	10.1
無回答	2.1	2.6	1.6	1.3	1.7	3.2	2.8	3.0	3.3	1.3	0.7

問3 問2で、「1 とても良くなっている」、「2 良くなっている」または「3 少し良くなっている」と答えた方にお聞きします。良くなった理由について記載して下さい。(回答は2つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	53	30	23	12	26	15	9	5	5	9	25
1 事件の報道が少なくなったから	20.8	20.0	21.7	33.3	15.4	20.0	11.1	20.0	60.0	22.2	16.0
2 自分自身や身近で犯罪の被害が発生していないから	50.9	53.3	47.8	58.3	53.8	40.0	44.4	20.0	60.0	66.7	52.0
3 警察や自治体の広報で犯罪の減少を知ったから	9.4	16.7	0.0	0.0	19.2	0.0	11.1	40.0	0.0	11.1	4.0
4 住んでいる地域の防犯環境が良くなったから	28.3	26.7	30.4	41.7	26.9	20.0	22.2	0.0	20.0	44.4	32.0
5 防犯パトロールなどの地域活動が高まったから	47.2	46.7	47.8	33.3	46.2	60.0	33.3	60.0	20.0	22.2	64.0
6 警察によるパトロールがよく行われているから	13.2	13.3	13.0	8.3	19.2	6.7	22.2	20.0	20.0	0.0	12.0
7 その他	1.9	0.0	4.3	0.0	0.0	6.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.9	0.0	4.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0

問4 問2で、「5 少し悪くなっている」または「6 悪くなっている」と答えた方にお聞きします。悪くなった理由について記載して下さい。(回答は2つ以内)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	219	98	121	68	80	71	31	47	48	38	55
1 事件の報道が相変わらず多いから	40.6	38.8	42.1	45.6	37.5	39.4	41.9	46.8	47.9	44.7	25.5
2 自分自身や身近で犯罪の被害が発生したから	46.1	44.9	47.1	42.6	41.3	54.9	48.4	48.9	41.7	39.5	50.9
3 警察や自治体の広報で犯罪の増加を知ったから	35.6	33.7	37.2	33.8	40.0	32.4	25.8	40.4	35.4	31.6	40.0
4 住んでいる地域の防犯環境が悪くなったから	24.2	28.6	20.7	27.9	23.8	21.1	25.8	17.0	22.9	28.9	27.3
5 防犯パトロールなどの地域活動が行われていないから	7.8	7.1	8.3	7.4	10.0	5.6	0.0	6.4	4.2	13.2	12.7
6 警察によるパトロールがあまり行われていないから	21.5	23.5	19.8	19.1	23.8	21.1	29.0	19.1	16.7	21.1	23.6
7 その他	6.4	5.1	7.4	2.9	5.0	11.3	6.5	2.1	12.5	0.0	9.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3 あなたのとっている防犯対策

問5 あなたのとっている防犯対策は何ですか。(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 施錠を徹底している	84.6	88.0	81.5	84.6	84.8	84.5	77.5	84.2	84.8	86.3	87.7
2 補助錠やワイヤー錠を活用してツーロックに努めている	33.0	35.2	30.9	41.6	33.1	24.5	18.3	35.6	32.6	27.5	42.0
3 警報機を活用したり、防犯ブザーを携帯している	12.0	14.2	10.0	13.4	13.5	9.0	7.0	9.9	14.1	8.8	16.7
4 CP建物部品、イモビライザーなどを活用したり、防犯カメラを設置している	13.3	14.2	12.4	9.4	15.7	14.2	8.5	16.8	18.5	11.3	10.9
5 犯罪を防ぐための情報を積極的に得ている	33.0	30.9	34.9	34.2	33.7	31.0	22.5	32.7	40.2	28.8	36.2
6 何もしていない	6.8	6.0	7.6	8.1	5.6	7.1	12.7	5.9	6.5	8.8	3.6
7 その他	10.2	9.9	10.4	14.8	8.4	7.7	9.9	9.9	9.8	5.0	13.8
無回答	0.4	0.0	0.8	0.7	0.6	0.0	1.4	0.0	1.1	0.0	0.0

4 自治体に望む防犯対策

問6 自治体に対して、最も望む防犯対策は何ですか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 様々な犯罪に対する防犯教室・防犯講話などの啓発活動	7.1	8.6	5.6	8.1	5.1	8.4	4.2	3.0	10.9	2.5	11.6
2 防犯ボランティア団体への活動物品の提供などの支援	7.3	8.2	6.4	4.7	9.0	7.7	9.9	7.9	7.6	2.5	8.0
3 地域に密着した犯罪・防犯情報の提供	36.9	34.8	39.0	39.6	37.6	33.5	35.2	31.7	27.2	46.3	42.8
4 公園、駐輪場に防犯カメラを設置するなど犯罪の起きにくい環境の整備	38.2	34.3	41.8	39.6	36.5	38.7	38.0	47.5	42.4	38.8	28.3
5 子どもに対する自己防衛のための防犯教育	5.8	6.4	5.2	2.7	7.9	6.5	9.9	5.0	8.7	3.8	3.6
6 その他	4.1	6.9	1.6	4.7	3.9	3.9	2.8	5.0	2.2	5.0	5.1
無回答	0.6	0.9	0.4	0.7	0.0	1.3	0.0	0.0	1.1	1.3	0.7

5 防犯カメラの設置

問7 公共の場における防犯カメラの設置についてどう思いますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 必要であり賛成	70.7	70.8	70.7	69.1	74.2	68.4	63.4	72.3	71.7	73.8	71.0
2 必要性をあまり感じないが賛成	12.4	12.0	12.9	14.8	10.7	12.3	9.9	9.9	9.8	15.0	15.9
3 どちらでもよい	7.7	6.0	9.2	4.7	7.9	10.3	14.1	8.9	8.7	5.0	4.3
4 必要だが反対	6.4	7.3	5.6	6.7	5.6	7.1	5.6	6.9	7.6	6.3	5.8
5 不必要なので反対	2.5	3.4	1.6	4.7	1.7	1.3	7.0	2.0	2.2	0.0	2.2
無回答	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

6 身近に感じる防犯情報

問8 犯罪発生状況について、どのような情報がより身近に感じますか。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 文字の情報	23.9	21.9	25.7	22.8	23.0	25.8	9.9	23.8	27.2	26.3	27.5
2 写真の情報	35.3	34.3	36.1	39.6	33.7	32.9	49.3	30.7	29.3	41.3	31.9
3 地図の情報	27.2	31.3	23.3	23.5	32.0	25.2	21.1	31.7	32.6	23.8	25.4
4 グラフや表の情報	10.6	9.0	12.0	11.4	8.4	12.3	16.9	11.9	8.7	6.3	10.1
5 その他	3.1	3.4	2.8	2.7	2.8	3.9	2.8	2.0	2.2	2.5	5.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

7 CSR活動（企業の社会貢献活動）に取り組む企業

問9 CSR活動（企業の社会貢献活動）を積極的に取り組む企業をどう思いますか。（回答は1つ）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 信頼できる	37.6	38.2	36.9	37.6	38.2	36.8	22.5	35.6	34.8	42.5	45.7
2 やや信頼できる	36.3	32.2	40.2	38.3	34.8	36.1	36.6	37.6	37.0	33.8	36.2
3 どちらともいえない	22.6	24.9	20.5	21.5	23.0	23.2	39.4	20.8	22.8	22.5	15.2
4 あまり信頼できない	3.1	3.9	2.4	2.0	3.4	3.9	1.4	5.9	4.3	1.3	2.2
5 信頼できない	0.2	0.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
無回答	0.2	0.4	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

8 防犯パトロール活動への参加意思

問10 あなたは、地域における防犯パトロール活動等に参加したいと思っていますか。（回答は1つ）

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	482	233	249	149	178	155	71	101	92	80	138
1 自治体や地域が実施する防犯パトロール活動等に参加している。	9.8	9.0	10.4	8.7	10.7	9.7	2.8	5.9	8.7	8.8	17.4
2 これまでは行っていないが、今後参加しようと思っている。	10.4	14.6	6.4	7.4	10.7	12.9	2.8	6.9	6.5	11.3	18.8
3 参加の意欲はあるが、参加の仕方がわからない。	18.5	20.2	16.9	24.2	16.3	15.5	15.5	19.8	16.3	17.5	21.0
4 参加の意欲はあるが、仕事や時間の都合で参加できない。	35.9	34.8	36.9	34.2	39.9	32.9	43.7	43.6	54.3	32.5	15.9
5 今のところ地域では実施されておらず、実施されれば参加しようと思っている。	7.1	6.4	7.6	6.7	7.3	7.1	2.8	4.0	1.1	11.3	13.0
6 地域での実施の有無に関わらず、今後も参加するつもりはない。	12.0	12.0	12.0	9.4	13.5	12.9	28.2	14.9	6.5	11.3	5.8
7 その他	6.2	3.0	9.2	9.4	1.7	8.4	4.2	5.0	6.5	7.5	7.2
無回答	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

平成22年度第3回県政モニターアンケート報告書

「防犯活動への意識」
平成22年11月発行
愛知県知事政策局広報広聴課
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話(052)954-6169(ダイヤルイン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

